

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 122

事務事業名	ふれあい収集事業
-------	----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	環境センター		
課長名	濱崎 賢二	内線	54-3100
担当者名	本川 健二	内線	54-3100

基本目標		機能的で環境と調和したまち
政策	050403	環境にやさしいまちづくり
施策		ごみの減量化と適正処理の推進
関連施策		

会計	一般会計		
款	4	衛生費	
項	2	清掃費	
目	02	塵芥処理費	
事業コード	020300	ふれあい収集事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	要介護等の認定を受けた高齢者や障害者等で、家庭ごみをステーションまで持ち出すことが困難であり、かつごみ出し支援者がいない世帯		
意図 対象をどのような状態にしたいか	ステーションまでのごみ出しが困難な独居高齢者及び身体障害者等を対象に、玄関先まで回収に出向くふれあい収集を実施することで、対象者の身体的負担軽減を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	対象者から申請書及び必要書類を提出してもらい、現地調査を行った上で認定の可否を決定する。 基本的に可燃ごみ、不燃ごみ、資源物は週2回収し、希望者には、見守り活動として回収時に声掛けを行い、不測の事態が発生したときは、必要な措置を講じた上で、緊急連絡先へ通報する。		
事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 29 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大村市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、一般廃棄物処理基本計画		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① ふれあい収集世帯件数	計画値				100	
		実績値					
	②	達成度	%				
		計画値					
成果指標	① ふれあい収集量	計画値				40	
		実績値	t				
	②	達成度	%				
		計画値					
	②	実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	0	5,149	3,603	3,603	3,603	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他					3,603			
一般財源				5,149		3,603	3,603	
② 人件費(千円)	0	0	0	6,577	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)				0.65	ごみ出しが困難な世帯に限り、戸別に玄関前までごみ収集に行く。	ごみ出しが困難な世帯に限り、戸別に玄関前までごみ収集に行く。	ごみ出しが困難な世帯に限り、戸別に玄関前までごみ収集に行く。	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)				1.00				
フルコスト(①+②千円)	0	0	0	11,726				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成28年6月から本格実施した。8月末時点で73世帯を認定し、声かけを行いながら戸別収集を実施している。問い合わせが多く、今後も申請者は増加すると思われる。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	今後、可燃ごみのステーション化を推進することとしているが、ステーションまでのごみ出しが困難な世帯のふれあい収集は必要不可欠な事業である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	家庭から排出される廃棄物については、市の責任で処理しなければならない。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	高齢化社会に向けて有効な事業である。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	ステーション化の促進に繋がる事業である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	高齢化社会が進むにつれて、コストは増大していく見込となる。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持
--------	------

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	実施して間もなく、現行の取り組みを継続する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等	市民の評価が高く、今後も積極的な事業展開を行うべきである。			内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。